

## 課題NO.2

# 土地利用型法人によるえだまめ生産体系の導入定着



活動期間：令和3年度～令和5年度

対象：有限会社薬師農産、農事組合法人かすかわ

チーム員：中村寛、上山啓一、高橋晋太郎、高橋怜史

# 1 課題の背景・ねらい

## (背景)

- 大郷町前川地区では、農地整備事業（約300ha）を予定。
- 高収益作物として、えだまめやねぎの導入を検討。
- 対象の2法人は、当地区内の担い手であり、農地整備事業に先駆けて、えだまめ栽培に着手。
- えだまめ栽培の導入は、水稲や大豆の作業との競合が課題。そこで、収穫から出荷調製作業の省力化・分業化や早晚性の異なる品種の組合せによる作期分散に向けた支援が必要。
- 町、JAでは、えだまめを振興作物として位置づけ。

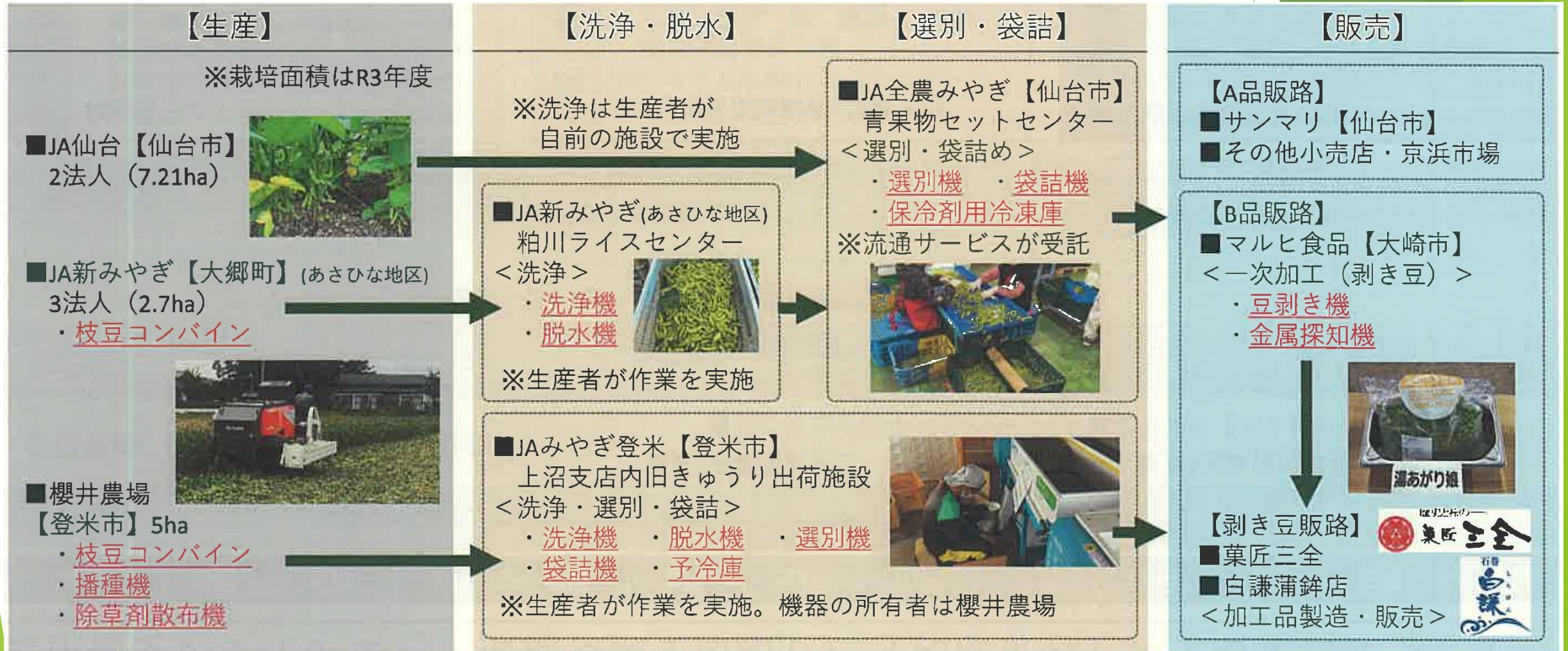
## (R5年度の成果指標)

定性的目標：・栽培技術の向上による収量、品質の安定化  
・水稲及び大豆の作業との労働配分を考慮した生産体系の確立

定量的数値目標：10a当たり可販収量 R5：280kg

# R3年度 園芸作物サプライチェーン推進事業を活用した「えだまめ」の生産振興

事業主体：園芸生産拡大広域連携協議会（全農みやぎ）



※上記事業内容は計画当初時の内容

# 2 活動内容 (R3~4)

大郷町内作付面積 (ha) ・ 経営体数 (法人)

R3 : 1.9 (3) → R4 : 6 (5) ⇒ R5 : 6.3 (6)

## (1) 排水対策・雑草防除等栽培技術支援

### えだまめ栽培暦

1 目標収量 500kg/10a (水田転作・機械収穫)

2 作型と品種 凡例: ○ 播種, — 生育期間, ◎ 開花, — 収穫期間

月	5月			6月			7月			8月
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
作型		○		○	○	○	○	○	○	○

### 3 作業内容

- 播種準備 (4月上旬~下旬)
  - 播種機の使用: 大豆の播種機を使用し、播種の深さは3cm程度で、2粒計
- 排水対策
  - ・ 排水の良いほ場を選ぶこと。
  - ・ 排水明渠の設置
    - ・ 溝幅25~35cm、深さ30~40cm
    - ・ 明渠の終点は排水口に連絡させ、ほ場外に排出すること。
  - ・ ほ場内小排水溝の設置
    - ・ 溝幅20~30cm、深さ15~25cm
    - ・ 小排水溝は排水明渠と連絡させ、ほ場外に排出すること。
- 雑草防除 (除草剤散布)
  - ・ 播種後及び生育中
  - ・ 20~70%の薬剤 (一年生雑草)
  - ・ 播種後発芽前 (雑草発生前)
  - ・ 10a当たりの使用量 (400~600ml) 又は 10a当たりの使用



補助暗渠施工・効果検証(R4)



先進地視察研修(R4)



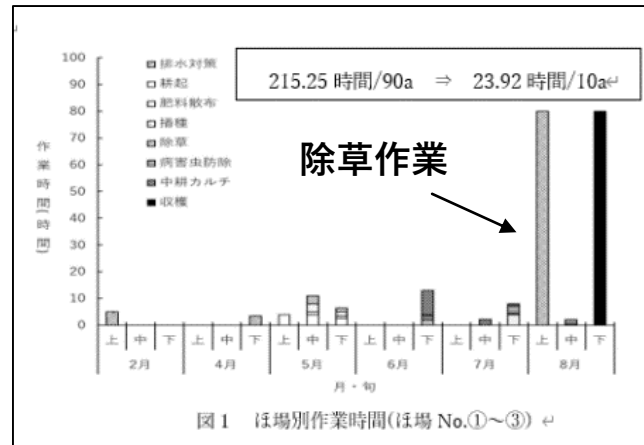
R4年  
7/15~16  
大雨被害

栽培暦の策定(R3)

## (2) 出荷体系の検討



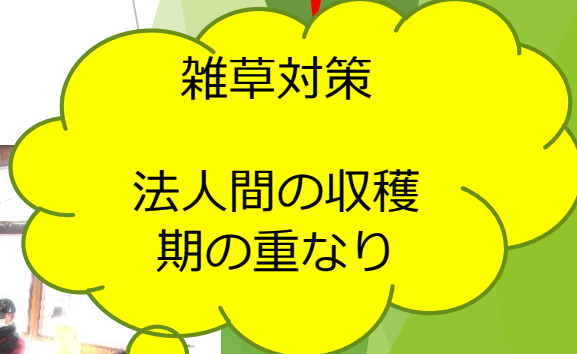
品種比較調査ほ (R3)



労働時間調査(R4)



振り返り検討会 (R4)



雑草対策

法人間の収穫  
期の重なり

# 2 活動内容 (R5)

## (1) 排水対策・雑草防除等栽培技術支援

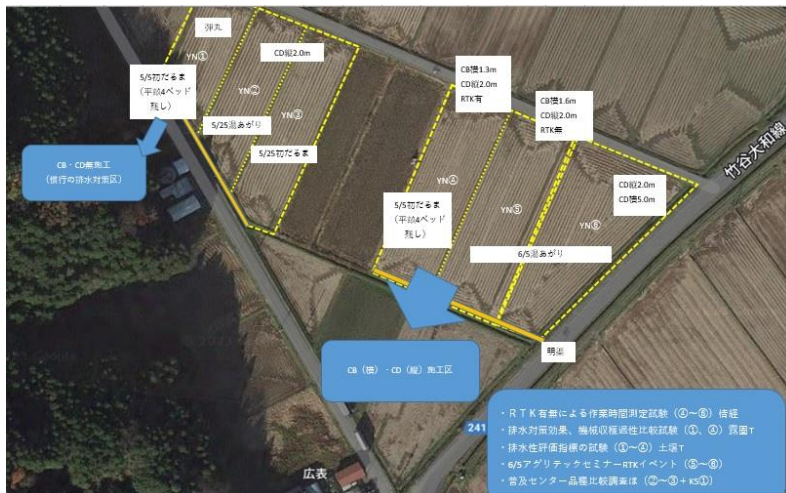
排水対策試験ほの状況

5/6~8 合計90mm

(アマダス・鹿島台) の降雨後



補助暗渠の施工  
(カットドレーン等)



排水対策の効果検証



雑草防除・病虫害支援

慣行区 (5/11)

試験区 (5/11)

3日後

# 2 活動内容 (R5)

## (2)生産体系の最適化



栽培スケジュールの打合せ



品種検討調査ほ設置

## 作型表

品種	5月			6月			7月			8月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
湯あがり娘1 (中早生)		●					◎				■	■ (81日)
初だるま1 (極早生)		●					◎				■	■ (94日)
初だるま2 (極早生)		●									■	■ (90日)
湯あがり娘2 (中早生)		●					◎				■	■ (80日)
初だるま3 (極早生)		●									■	■ (86日)
初だるま4 (極早生)		●					◎				■	■ (83日)
湯あがり娘3 (中早生)		●					◎				■	■ (78日)
初だるま5 (極早生)		●									■	■ (81日)

播種日	曜日	法人名	地図	面積	品種	収穫予想日
5月6日	土	薬師農産 (1回目)		46a	初だるま	8月7日
5月7日	日					
5月8日	月					
5月9日	火					
5月10日	水					
5月20日	土					
5月21日	日					
5月22日	月					
5月23日	火					
5月24日	水					
5月25日	木	薬師農産 (2回目)		20a	湯あがり娘	8月11日
		かすかわ (1回目)		26a	初だるま	8月14日
				60a	ゆかた娘	8月23日
5月26日	金					
5月27日	土					
5月28日	日					
5月29日	月					
5月30日	火	あぐりオリザ		30	湯あがり娘	8月13日
5月31日	水					
6月1日	木					
6月2日	金					
6月3日	土					
6月4日	日					
6月5日	月	薬師農産 (3回目)		71a	湯あがり娘	8月19日
		かすかわ (2回目)		60a	ゆかた娘	8月31日

作付計画



初だるま (極早生)

(5/25播種)

# 3 これまでの活動成果

## (3) その他

RTKドローン防除  
(県えだまめ研修会)



### (1) 排水対策・雑草防除等栽培技術支援

- 排水対策について、試験ほ場の一部を除いて、すべてのほ場に補助暗渠が施工済。
- えだまめの生育状況は、播種直後の降雨等により一部で欠株や出芽不良が生じたものの、概ね順調。
- (農) かすかわでは、作付けほ場を変更(水稻後作)し、適期作業(除草剤散布、中耕、手取り除草)の実施等により、雑草発生を抑制。

### (2) 生産体系の最適化

- 早生品種も組み入れながら、播種・分散収穫する作付計画が立ち、8月上旬から収穫開始。
- 品種比較の調査ほを設置し、生育状況を観察中。初だるまについては、農園研と連携して機械収穫の適性をみるための試験ほを設置。

宮城 NEWS WEB

スマート農業のトラクター実演 高齢化や人手不足解消へ

06月05日 18時56分



農家の高齢化や人手不足の解消につなげようと、大郷町で自動で動くトラクターなどを紹介するイベントが開かれました。

このイベントは農業の効率化や生産性を高める「スマート農業」を県内に普及させようと県などが企画しました。

大郷町内の畑にはスマート農業に関心を持つ農家や農業機械メーカーの担当者などおよそ100人が集まり、自動で動くトラクターなどの実演が行われました。

RTKによる耕起・播種実演  
(アグリテックセミナー)

宮城県広報課

19時00分

【仙台エリアおすすめ食材 大郷町の「エダマメ」】  
仙台地方振興事務所内のおすすめの旬な食材、今回は「エダマメ」をご紹介します。大郷町では地域の新たな特産品にしようと、おとしからエダマメの生産が増え始め、今年6つの農業法人で新たな産地形成に向けて頑張っています！  
今回お話を伺ったのは、「農事組合法人かすかわ」の佐藤健二さん、熊谷秀さんのお二人です。エダマメの栽培は今年で3年目。一番苦労なさっているのは「害菌」とのこと。生育期間が梅雨に重なるので雨が多く、畑に水が溜まって生育が悪くなってしまったため、県の試験場や地元普及センター、JA等と一緒に排水対策に取り組んでいます。主な品種は「ゆかた娘」で、甘みが強く、茶豆風味が特徴。...さらに表示



フェイスブックでのPR

# 4 今後の対応

## (1) 排水対策・雑草防除等栽培技術支援

- 排水対策の効果について検証を行うとともに、次年度の作付けに向けて排水対策の実施内容を検討。
- 今年の栽培管理等を踏まえて実績の振り返りを行い、次年度の栽培に向けて課題の洗い出しと対策を検討。また、必要に応じて栽培暦等を改訂。

## (2) 生産体系の最適化

- 栽培実績、品種比較調査結果等をもとに、次年度に向けて生産体系の組み立てを支援。
- 薬師農産において、農業・園芸総合研究所と連携して、労働時間や生産コストの聞き取り調査を行い、えだまめの経営収支を分析する。